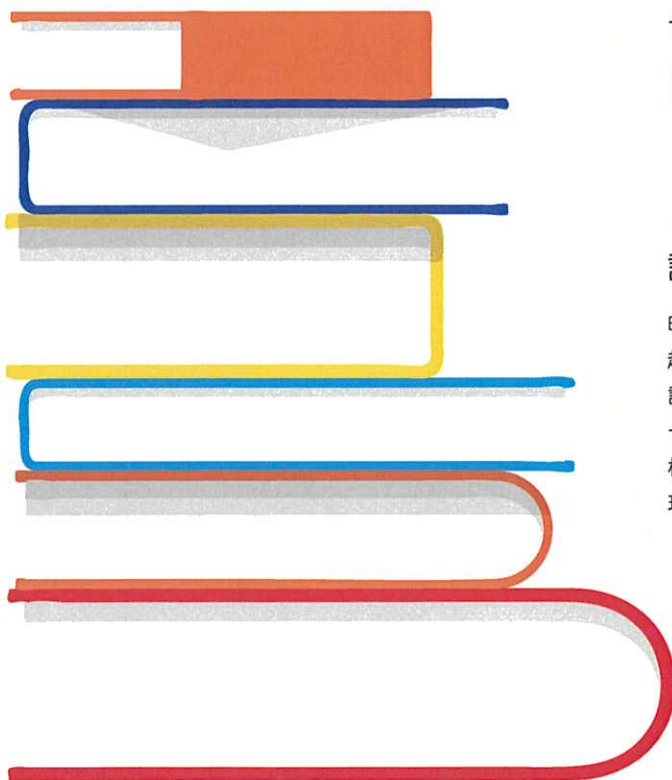


方丈読書会トーク & 朗読イベント

一冊の本から地域をみる 一冊の本から世界とつながる



テーマ：

はじめての「北越雪譜」

トーク：

講師 | 高橋実先生

昭和15年旧小国町生まれ。新潟大学教育学部卒業。卒業論文『北越雪譜の研究』。北越雪譜を卒業論文に選んだ主人公を描いた小説「雪残る村」が第52回芥川賞候補となる。

十日町市立水沢中学校、松代町立清水中学校、十日町高校田沢分校、川西高校等を経て平成13年3月、38年間の教職を定年退職。現在、県内の民俗文化にまつわる多くの団体の重職をつとめる。

朗読：

朗読者 | 天野季子さん

「北越雪譜」の一節より「熊人を助」

2018年夏より始まった本をとおして地域を考える「方丈読書会」

開催を重ねて、今春には第12回を迎えます。これまでに出会い共感した一冊の本や言葉を広く伝えるため、本からの学びや気づきを生き方とした専門家をお招きし、様々な切り口で語って頂きます。

2020年3月7日(土)

時間：13:30～15:00 (受付13:00～)

参加費：500円 (1ドリンクお菓子付) ※事前申し込み不要

定員：30名

会場：しなのがわバル (新潟県十日町市本町六の一丁目71-2 越後妻有交流館キナーレ内)

○主催・お問合せ：方丈読書会事務局 三輪良恵 TEL：090-5999-5119 / E-mail：hojokousou@gmail.com